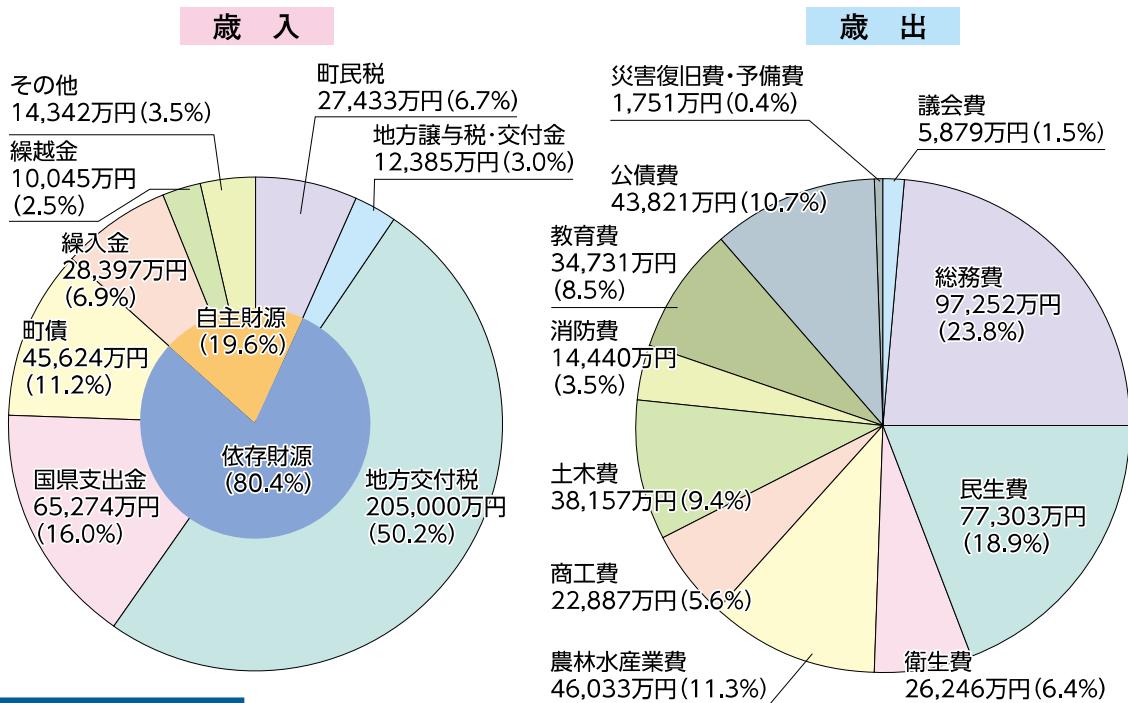


若桜町一般会計 当初予算概要

令和5年度一般会計当初予算の歳入歳出総額は40億8,500万円で、前年度から1億7,139万円（前年度対比4.4%）増加しました。主な事業として、IP電話更新等地域情報通信基盤施設費（1億7,979万円）や鉄道・バス・地域コミュニティタクシー運行にかかる交通対策費（2億1,178万円）を計上したほか、林道諸鹿屋堂羅線開設等の林道事業（9,436万円）、大野橋補修など町道新設改良事業（1億5,093万円）、氷ノ山グラウンド造成（7,516万円）、八頭消防署若桜出張所建設に伴う敷地造成（3,600万円）、若桜町公民館集会室改修事業（1,302万円）といった建設事業を計画しています。

さらには、旧若桜町・池田村合併70周年記念行事の開催や新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種の継続、子育て家庭に対する各種祝金等を拡充するほか、再生可能エネルギー活用に向けた脱炭素社会推進事業やグリーンズローモビリティ導入検討事業、重要な伝統的建造物群保存地区に選定された若桜の町並み保存事業予算なども計上しております。地域の特性に即し対応や事業展開を進め、コロナ禍にあっても持続可能な活力あるまちづくりに努めてまいります。

令和5年度若桜町一般会計当初予算 40億8,500万円 〔一般会計当初予算歳入歳出の内訳〕



令和5年度 特別会計当初予算

特別会計10会計の当初予算の合計額は18億3,622万円で、前年度より1億88万円（前年度対比5.2%）減少しました。

特別会計名	予算額	前年度比 (%)	特別会計名	予算額	前年度比 (%)
国民健康保険事業	4億2,931万円	▲0.5	農業集落排水事業	6,372万円	▲9.2
介護保険事業	6億7,700万円	▲3.6	赤松団地造成事業	56万円	0.2
後期高齢者医療	6,415万円	▲2.7	財産区造林事業	256万円	▲21.2
簡易水道事業	3億3,400万円	▲28.7	索道事業	5,504万円	31.5
公共下水道事業	2億600万円	35.1	住宅新築資金等貸付事業	389万円	331.8

令和5年度の主な事業

I 安全で快適に暮らすやさしいまち

脱炭素社会推進事業

255万円

Jクレジット登録を行い
クレジット売却益を活用し
た森林整備、地球温暖化対
策に取り組みます。



ライフルайн被害予防対策事業

200万円

危険木の事前伐採を行い、
倒木による停電や災害防止
に努めます。

II みんなを大切にし、子どもを産み育てやすいまち

出産・進学祝い金支給事業

420万円

出産祝い金の拡充（第1
・2子…5万円→10万円、
第3子…10万円→20万円）



ねんりんピック事業

400万円

電動カートなど新たな観
光資源となりうる小型低速
モビリティの導入・活用を
検討します。

情報通信基盤施設更新事業

238万円

IP電話等の情報通信機
器の更新を年次計画的に行
います。

III 豊かな心と体を育み、人材を育てるまち

青少年育成事業

47万円

次世代を担う青少年が地
域とのつながりや地元への
愛着を強め、将来的な定住
につながるよう高校生たち
の地域活動を促進します。

鬼ヶ城跡景観整備事業

176万円

山頂部周辺の景観支障木
を伐採し景観向上を図るほ
か、ボランティアによる三
ノ丸周辺の草刈り、トイレ
の設置など、快適な環境を
整備します。



IV 豊かな自然を活かし、産業が活性化するまち

地域おこし協力隊事業

1,100万円

農業・商工部門の協力隊
員を募集し、蕎麦屋やパン
屋など新規創業支援を行
います。

森林境界明確化事業

684万円

航空レーザー測量のデ
タも活用しながら森林の境
界明確化に着手し、地籍調
査への活用につなげます。



氷ノ山グラウンド整備事業

7,516万円

氷太くん奥のグラウンド
を改修整備し、グリーンシ
ズンの集客促進、活性化を
図ります。

V 住みたい・訪れた い・楽しみたい 魅力的なまち

若桜駅一帯の駅 跨線橋概略検討事業

400万円

若桜駅と道の駅間のス
ムーズな往来や観光列車の
撮影スポットとなる連絡道
について検討します。

中山間地域振興事業

354万円

池田地域に集落支援員を
配置して集落機能をサポー
トし、地域の活性化に取り
組みます。

